

业务外语之动词、副词、代词、形容词的用法3 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/34/2021_2022__E4_B8_9A_E5_8A_A1_E5_A4_96_E8_c29_34730.htm

形式名词 ことものところわけはずつもりためせいいうえうちかわりかぎりとおりままほういっぽうかたわらほかたび 日语把体言中表示实质性概念的体言叫作实质体言，例如“花、本、机（つくえ）、人、犬（いぬ）”等；把表示形式性概念的体言叫作形式体言，例如“わたし、あなた、三、五”等。这是从词汇意义上划分的实质体言和形式体言，从语法上讲意义不大。另一方面，从语法意义上把在句中具有实质性意义（或称独立词义）的名词叫作实质名词；把在句中不具有实质性意义（或称独立词义），只是在形式上起名词作用的名词叫作形式名词。例如：1. このへやにはいろいろなものがある。（ものは实质名词）2. 富士山に登ったことがある。（ことは形式名词）可见，语法上的形式名词与词汇意义上的形式体言是完全不同的两回事。但是，在我国的传统日语教学语法体系中，很多人把语法上的形式名词叫作“形式体言”。形式名词是从实质名词引申、演变来的。因此，同一个名词在不同情况下可以用作实质名词，也可以用作形式名词。例如：3. ことが起こってからではすぎる。（こと用作实质名词）4. 朝はに欝勝？ことがある。（こと用作形式名词）形式名词有以下特点：1. 不能单独使用，只能接在连体修饰语（主要是用言和部分助动词连体形，有时也有体言の的形式）的后面，表示连体修饰语所限定的意义、内容。形式名词离开了前面的连体修饰语，具体的意义、内容就无从谈起了

。 2. 可以使用前面的用言具有体言的性质、资格，并且连同前面的用言一起后加助词、助动词等充当各种句子成分。 3. 可以表示某种附加意义。由于形式名词具有以上特点，翻译中需要灵活掌握。常用的形式名词有：こと、もの、ところ、わけ、はず、つもり、ため、せい、うえ、うち、かわり、かぎり、とおり、まま、ほう、いっぽう、かたわら、ほか、たび等。

二、こと 1、接在用言连体形后面，使前面的用言具有体言的性质，表示前面的用言所限定的意义、内容。例如：健康を害することが一番恐しい。 2、接在体言十の的后面，表示“与……有关的事物”。例如：仕事のことなどどうぞご心配なく。 3、接在用言连体形后面，表示在某种状态条件下。这种用法分为两种情况：一种示以词组ことには的的形式接在形容词、形容动词组连体形后面，在表示状态的同时有加强语气的作用。例如：悲しいことにはもうお金が全然ありません。 残念なことにはあんな弱いチームにけてしまった。另一种是以词组こと（に）は的的形式接在动词、形容词连体形后面，在表示状态的同时，通过同语反复和与接续助词呼应，用缓和语气的作用。例如：行くことは行くが、いつ行くかまっていない。 近いことは近いが、交通が不便だ。 4、构成词组ことができる（できない），接在动词连体行后面，表示动作的可能与否。例如：あなたはを啗工程长趣扞蓼工？ 人が大いて、ることができない。 5.构成词组ことがある（ない），接在动词过去时连体形后面，表示某一动作经验的有无。例如：君は外国へ行ったことがあるかい。 わたしはたこともいたこともありません。 6.构成词组ことがある（ない），接在动词

连体形后面，表示某种事实、情况的有无。例如：途中で下すことがある。このごろはあまり行くことはありません。100Test 下载频道开通，各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com